



すこやか・さんぽ

宮守幼稚園・保育所

宮守幼稚園、保育所の元気なばら組(5歳児)です。登園すると間もなく、水着になり園庭に飛び出します。大好きな砂や泥んこで遊ぶのが目的です。砂場を掘り、水を溜めて「プールだよ!気持ちいいね!」と入っています。梅雨が明けたので、みんなで小学校のプールに行って遊ぶことを、何よりも楽しみにしています。
佐々木 栄子所長

主な内容

3月臨時会、5月臨時会、6月定例会

- ◆ 定例会等の概要……………2P
- ◆ 3月・5月臨時会・6月定例会議案審議結果……………3P
- ◆ 予算等審査特別委員会質疑……………4～5P
- ◆ 委員会行政視察レポート……………5P
- ◆ 一般質問 6人が登壇……………6～11P
- ◆ 私のひとこと、編集後記……………12P

遠野

議会だより

No.20

平成22年(2010)年8月

6月定例会

平成22年6月定例会が6月4日に招集され、11日までの8日間の会期で開かれました。一般質問には6人の議員が登壇し、市政をたどしました。

今定例会では、提案された条例の改正5件、平成22年度補正予算2件、その他1件の全議案を原案のとおり可決したほか、最終日には請願1件を継続審査とし、2件を不採択としました。



▲消防演習でのラッパ隊の力強い演奏風景

3月臨時会

平成22年3月臨時会が3月25日に開かれ、2議案を原案のとおり可決しました。

5月臨時会

平成22年5月臨時会が5月29日に開かれ、2議案を原案のとおり可決しました。

請願

◆請願第1号「後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書」の提出を求める請願（不採択）

◎請願者 岩手県社会保障推進協議会 代表者
高橋 八郎 ほか一名

◆請願第2号 最低賃金法の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化に関する請願（不採択）

◎請願者 岩手県労働組合連合会 議長
鈴木 露通

◆請願第3号 30人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願（継続審査）

◎請願者 岩手県教職員組合巻遠野支部 支部長
佐々木 信也 ほか一名

3月臨時会議案審議結果

議案名		賛成	反対
議案第34号	平成21年度遠野市一般会計補正予算（第10号）	全会一致	
議案第35号	遠野市斎場建築工事の請負契約の締結について	議案撤回	
議案第36号	平成21年度遠野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	全会一致	

※ 議案第35号の撤回の理由

落札者が当該工事の請負契約の相手方として適当であるか否かについて更に調査を要すると判断したため。

5月臨時会議案審議結果

議案名		賛成	反対
議案第37号	遠野市市税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて	全会一致	
議案第38号	遠野市斎場建築工事の請負契約の締結について	全会一致	

6月定例会議案審議結果

議案名		賛成	反対
議案第39号	遠野市民センター条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
議案第40号	遠野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
議案第41号	遠野市市税条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
議案第42号	遠野市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
議案第43号	遠野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
議案第44号	岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び岩手県市町村総合事務組合同規約の一部変更の協議について	全会一致	
議案第45号	平成22年度遠野市一般会計補正予算（第1号）	18	3
議案第46号	平成22年度遠野市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致	

6月定例会

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く21人の議員で構成、委員長は佐々木謙議員、副委員長は照井文雄議員）は、条例5件、予算2件、その他1件について付託を受けて2日間の審議を行いました。

今委員会では、特にも総合食育センター整備事業において活発な質疑がなされました。その結果、全8議案が原案のとおり可決されました。

地域ICT遠野型健康増進ネットワークについて

問 地域ICT遠野型健康増進ネットワーク事業の内容は。

答 平成20、21年度にICT（情報通信技術）を活用した地域連携遠隔支援モデル事業をもとに、市内各地区センターを活動拠点とする市内全域を網羅した健康づくりのネットワークを推進しようとするもの。宮守地区の3地域の場所は未定だ。この事業によって、ハード面では健康づくり関連器材の整備等を行い、ソフト面では定期的に地区センター等に集まって健康情報を計測し、看護師等のスタッフによる健康づくりの巡回指導や健康相談（採血も実施）等を実施する。このことにより、医療費の抑制を図りたい。



総合食育センターについて

問 今回、詳しい説明がないままに基本設計などが、平成20年7月の市政調査会において説明があったたきりである。残された課題、福祉施設への給食の提供や施設整備の建設運営などについて、検討して公表すると言っていたが、2年間で市民懇談会も含めてどのように整理されているのか。

答 平成20年7月以降の経過については、21年6月に福祉施設代表者との協議を行い、9月には二戸市と久慈の学校給食センターを視察。財源については、これまでは合併特例債を考えていたが、様々な検討の結果、少しでも有利な財源を確保するというところで、まちづくり交付金を利用することに決定。3月に申請し、5月に決定された。それにより、PFI方式から設計と工事は別になり、また、LLP方式についても見直し再検討していくことに。食育センターとしてのコンセプトや地産地消率ということでも農業関係者との話し合いも行われてきた。

問 給食センターの必要性は認識されていると思われ、今までの方式とは変わった形で進めていくという事は理解したものが、今まで検討されたものを議員全員協議会の中

で説明すべきではなかったか。その上で市民懇談会での意見要望を聞くのが順序ではなかったか。
答 確かに説明不十分だったかも知れない。今後は市民検討委員会を立ち上げ、8月から9月までには結論を出し、議員の方々には、逐次説明をしながら整備をしていく。

口蹄疫の予防対策について

問 宮崎県で発生している口蹄疫への本市の対策は。

答 対策は防疫連絡協議会で検討した中から、畜産農家に消石灰を配付し、車輛と人の出入りする場所に散布を徹底させている。更に粉末の消毒薬も配付して、両方で菌の侵入を防ぐ対策を考えている。

問 本市は畜産生産高の

注1 PFI方式とは…プライベート・ファイナンス・イニシアチブ（民間資本主導）の略
民間のノウハウによって無駄なコストが省かれ、質の高い公共サービスが提供できるとされている。

注2 LLP方式とは…リミテッド・ライアビリティ・パートナーシップの略
事業を目的とする組合契約を基礎に形成された企業組織体のこと。

比率が高く、万が一発生した場合、甚大な被害を受ける。具体的な予防策がない中、発生ルートや独自調査等も必要と思うがどうか。

答 畜産農家、獣医師、各専門家、関係機関との連携を取り、今後開催予定の防疫連絡協議会で、本市独自の対策について議論の上対処をしていきたい。

法務局の統合について

問 法務局遠野支局が廃止され、花巻支局に統合するのは事実か。

答 今年7月20日から統合する事で、既にホームページでも公開されている。

問 釜石市でも宮古市に統合され、釜石市役所に交付所を設置している。市民の不便さを感じる。本市でも窓口で交付対応

できないものか。

答 盛岡法務局と交渉したが、年間6万件の証明書交付基準がある中で、遠野市は年間3万9千件の実績で、交付事務の取扱いはできないと、議論が止まっている。基準に従い統合する事が決まった以上、これ以外の部分で市民の利便性を確保するため何が可能なのか交渉していきたい。



報 告 委 員 会 特 別 委 員 会 視 察 報 告

町村議会広報先進地 視察を終えて

第24回町村議会広報コンクール（全国町村議会議長会平成22年2月17日開催）において、★優秀賞の秋田県美郷町議会★入選の雫石町議会★入選の金ヶ崎町議会の各自治体を行政視察した。このことについて、簡単に報告する。

▼議案は全てを掲載するのではなく、関心が高いと思われるもののみを優先的に掲載。▼2回目以降の編集会議には、印刷業者が出席。校正等が直ちに可能で、レイアウトなどもその場で作ることができる。▼印刷業者選

定はデザインコンペにて決定。▼表紙と2頁、3頁が重要であり、最も力を入れる部分。▼タイトルは上下左右に変化をつける。題字の色と頁の中の色を統一している。▼

一般質問は、議会優先という考え方から後ろの頁に入れる。▼見出し4分の1、記事4分の1、写真4分の1、そして余白4分の1の原則をできるだけ守ってレイアウトする。▼新人議員は必ず編集委員を担当する。

●表紙はカラーにできないものか。単一色印刷では限界があり、従って、もっと予算確保が必要だ。表紙写真は広報の命であり、今後対策が必要だ。●2頁と3頁の紙面づくりは、取材や考察、分析を入れたものとし、市民の心をよ



り引き付けるような内容にしたい。●写真はできるだけ多く撮り、そして選択し活用したいものがある。●議案は、市民にとって興味深いものを選定すべきである。●一般質問部分は、広報誌の後ろにもってくるのが一般的なようである。▼雫石町では、今年度から行政広報誌に、スポンサーを入れるとのこと。本市でも検討してみてもどうか。▼新人議員は必ず編集委員を経験してほしいものである。

問 合併による新市の現時点における評価について、合併後5年の検証を踏まえ、記録誌を作成してはどうか。

答 平成17年10月1日がスタートし、この10月で5年を経過する。その成果、評価に係る情報は広報や遠野テレビ等で市民に示している。地域の活動記録や統計的な数字の記録と併せ、合併の歩み等を将来に向けてまとめていく。

問 市が出資している第三セクター等の見直しの具体的な方向性はどうか。

答 広く県内外の有識者の参画を頂戴し、「遠野市進まぢづくり検証委員会」を立ち上げ、存廃や縮小、見直しのみを議論するのではなく、一定の方向性を見い

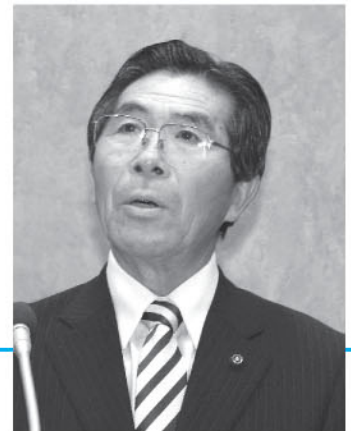
だしていくことを目的に、それぞれ検証をいただいている。今年11月を目途に一定のまとめを見たいと考えている。なお、遠野馬の里については、6月中を目途に中間報告という形で一定の提言が予定されている。

問 2016年に開催される岩手国体の遠野会場となる少年男子サッカー競技に係る施設整備、大会運営等の受入れ体制については。

答 天然芝グラウンド3面を有しているが、国体開催条件として最低4面のグラウンドが必要とされており、1面は人工芝で整備する計画である。開催年の2年前までに整備を終える必要があり、芝の張り替えなどの改修と併せて準備を進めていきたい。平常時は市民の健康づ

現在進めている 第三セクター等の 見直しについて

菊池邦夫議員 (新和会)



くりや運動施設として機能の充実を図り、災害時には避難所や後方支援拠点基地として活用できるように、多目的利用施設として整備していきたい。選手・役員の受け入れ体制については、監督・選手を合わせ、約400名の予想であり、現在約800名の収容宿泊能力があるが、多くの方を受け入れられるよう、市民の協力をいただきたい。ながら検討していきたい。



畜産公社で運営されている荒川牧場



対面通行が困難なほど狭くて危険な消防署北線

問 口蹄疫に対する本市の危機管理体制は。宮崎県からの最近における子牛導入状況は。県と市が配付する消毒液は重複して配付されるものか。また、薬の効果は。感染予防ワクチン投与の実施は。

局、普及サブセンター、県獣医師会遠野支部、J A、N O S A I、畜産公社で、会長は、市農業活性化本部畜産担当部長として。必要により対策本部の設置を要請することになっている。宮崎県からの子牛導入については、3月以降導入された牛はいない。消毒薬について、市内689戸の畜産農家に20キロ入り消石灰を3〜4袋配付し

答 昨年11月5日に「遠野地域家畜伝染病等防疫対策連絡協議会」を立ち上げて。構成員は、市、県南家畜保健衛生所、県南広域振興

(注1)
**スプロール化が進行する
地域の市道「消防署北線」
の整備促進を**



菊池民彌 議員 (正心会)

問 遠野・都市計画マスタープランは、合併後も生きているプランか。狭隘で危険な市道「消防署北線」を都市計画街路事業として整備すべきではないか。できない場合は、市道「新張羽根通線」の整備手法もあるのではと思うが。市長は、都市計画事業の見直しを検討しな

答 旧遠野市のマスタープランを現在も継承している。住家が密集している道路の拡幅事業は、用地費、補償費が嵩み、事業費が多額となるため、補助事業等によらなければ着手することが困難である。この道路は、地域住民の理解も得ながら市全体の道路整備の中で、整備方向を考えなければと、思っている。県では、「都市計画路線見直しマニュアル」に基づき、対象路線の検討に入った。当市も、市民の意見を聞きながら見直しをしなければならぬ。

その他の質問
地上デジタル化に伴う遠野テレビへの加入金について

注1 スプロールとは…<不規則に広がる意>
都市の郊外に無秩序・無計画に宅地が伸び広がっていくこと。「一現象」「一化」

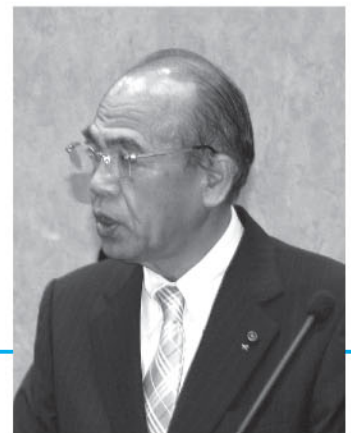


風疹の予防接種風景

問 「遠野物語」発刊100周年を記念し、語り部100人プロジェクト事業が行われている。昔話、郷土芸能、歴史、食、そして生業の5部門の人材を募っているが、遠野郷を語るとき、「自然」というジャンルは必要なのか。

答 この事業は、5部門に絞ってスタートしたが、遠野の観光や文化を語るとき、「自然」というジャンルはなくてはならないものと考えられる。今後さらに、市民の理解を頂きながら「自然」などの新たな部門設定を検討したい。

問 女性特有のがん予防対策が求められている。子宮頸がんの予防ワクチン接種は半年で4回、費用は5万円前後と



石橋 達八 議員 (無会派)

がん予防の ワクチン接種に 公費助成を

高額であることから他自治体では公費助成をしている。遠野市ではどう対応するか。また、乳幼児のヒブワクチンの接種についても当市の取り組みを伺う。

答 今後の産直運営は、原点に立ち返り、新鮮で品質の良いものを消費者の視点で販売することは当然、他にないような特徴的な取組みが必要になる。タフビジョンでは、地域で生産された農産物の地域内消費の拡大と、生産者と消費者との結びつきを強め、顔が見える流通の取組みを推進することや、品揃えの確保をはかるため産直間のネットワーキ化なども検討しながら、販売力や営業力を高めたいと考えている。なお、競争の激化を招く恐れもあることから、「産直かみごう」の整備により、市内の産直施設整備は原則完了する事になる。

問 産直は、農家の所得確保や地域活性化にも大きな役割を担っているが、

答 今年度から、全妊婦を対象に子宮頸がん検診への全額助成を行う。また、無料クーポン券配布事業を継続するため6月補正予算に計上した。子宮頸がん予防ワクチンの接種については、今年を必要性・重要性の普及啓発の準備期間とし、次年度事業として取り組む。ヒブワクチンの接種については「子育てするなら遠野市」や「わらすっこ条例」の理念を尊重し、前向きに対応したい。

注1 ヒブ(Hib)とは…「インフルエンザ菌b型」という細菌のこと。冬に流行るインフルエンザの病原体とは、全く別もの。細菌性髄膜炎や敗血症などの深刻な病気を引き起こす。

問 本年10月に愛知県大府市との交流都市締結の調印式が予定されているが、今後の交流や、その他の交流都市との交流はどのように進めていくのか。

答 大府市においては、市制施行40周年、当市は新市施行5周年という節目の年であり、10月1日の遠野市市制施行5周年式典の中で調印式が予定されている。大府市においては、大府市産業まつりと併せて「1日遠野デー」を計画中である。その他については、国際交流により異なる文化に触れ、見聞を高めることは国際感覚を身に付ける上で大切であり、目的達成に向けマンネリ化にならないよう、内容を精査しながら推進する。

た「遠野市農林水産振興ビジョン(タフビジョン)」は、農業者の高齢化や人口の減少により担い手不足、後継者不足の問題解決が必要と思われるが、具体策はあるか。

答 「7つの目指すべき姿」を掲げて足腰の強いタフな農林水産業を目指す。4月からASTを遠野地区合同庁舎に移転し、遠野農林振興センターを加え4つの関係機関が連携して取り組んでいる。農業従事者数は平成17年は60歳以上が75%であり高齢化は進んでいる。農業就業人口は3,418人で、平成7年より1,900人以上減少している。これらを踏まえ、地域ぐるみの農業や認定農業者、集落営農の組織化などに支援していく。また、新規就農者に対しては、4人のア

都市間交流の今後は



照井文雄 議員 (清風会)



復旧が進む耕作放棄地

問 本年度の異常気象による風災害をドバイザーを配置して関係団体と連携し、指導・支援を行う。また、農産物加工施設が整備されることから、運営や販売面にも支援をしたい。農業生産、農業所得、雇用拡大に繋がるものについては、個人・法人を問わず積極的に支援する。

答 遠野市地域防災計画により重点検・調査・避難指導等行っている。河川内の立木については、管理者等と協議をして伐採撤去・管理整備を行う。

問 当市農業生産の半分を占めている畜産業。その中で宮崎県に発症した口蹄疫の発生は広がりを見せ全国に不安が漂う。この危機感の中、当市の対策は。そして、対策本部の設置は。

答 今6月議会に對策予算を計上し、既に遠野地域家畜伝染病対策連絡協議会の中で議論方針を出し、JAの支援も受け畜産農家に消石灰を配布した。対策本部については別組織を作ることなく、今協議会で機能を果たせると考えている。

問 新過疎法がスタートし、新たにソフト事業として「地域医療の確保、住民の日常的な移動のための交通手段の確保、集落の維持及び活性化、その他住民が将来にわたり安全に安心して暮らすこ

とのできる地域社会の実現を図る」と示され、集落支援員の配置等により地域の新たな方向性を模索する事も計画されている。今回、目的・分野別手段・プロセス等、計画が求められる。当市はどのように取り組み、展開して行くのか。

答 この過疎対象地区は、当市の一部地域でなく市全域が対象となり、今年度の過疎対策事業債（ソフト分）は約1億7千万円。また、「地域づくり活動」を踏まえ、集落を構成する皆が誇りを持って生活できる環境づくりのため集落支援員制の活用や地区センターのあり方も含め、「遠野市総合計画後期計画」等と整合性・連動性を図りながら、9月定例会に提案を目的し過疎計画を進めている。

新過疎法にかかる 遠野市過疎計画と 対象事業はどうなる



菊池 巳喜男 議員 (清風会)



新過疎法が待たれる遠野市

問 産業振興と雇用対策は最大の課題。遠野市総合計画には「おもしろさとやる気を感じる元気になる産業のまち」とある。その政策として、農畜林業の振興・商工業の振興等が掲げられ、商工業の振興施策には内発型・外発型の産業振興が列記されているが、誘致企業対策や

雇用対策の進捗状況は。
答 新規誘致企業3社、工場増設6社の実績。今後は、東北経済産業局が全面的に支援と協力を制をとる旨の快諾を得ている。雇用についても、多くの企業が景気回復基調にあり、来年に向けて新規雇用を増やしていきたい。



未来の遠野を担う子供たち

問 中学校再編成の現状をどう把握し、それを踏まえて今後どのような展開を図っていく考えなのか。

答 (教育長) 今年1月から2月にかけて各町を一巡した懇談会での市民の声を通じ、総じて市内8校を3校に再編成する計画案について、小友町を除けば、

理解をいただいていると受け止めており、特に今年3月には、これまで計画案の見直しを求め要望を行っていた附馬牛地区の方々から、再編成計画を進めていく前提に立った要望書の提出があり、それを受け5月31日には、23項目の要望事項に回答するとともに、意見交換を行うため、

中学校再編成の現状と今後の展開は



浅沼幸雄 議員 (正心会)

懇談会を開催したところである。

その場では、「再編成に向けた学校間・子供同士での積極的な交流の機会について」等々、新しい学校づくりへの多くの質問や意見が出された。それらはまさしく、再編成計画の決定後に学区単位で組織する「学校づくり協議会」で具体的に話し合っていく内容そのものであり、再編成計画の成果に向けて、大きく前進したものだという思いを強くした。

このことから再編成計画を策定する時期は、もう目前に迫っていると実感するものである。

なお、小友町については、話し合いの窓口となる「中学校再編成計画を考える会」との積極的な話し合いの場を創っていかねばならないと考えている。

答 (市長) 市として歩調を共にし、中学校再編成の推進に取り組んでいく時期が来ていると思っ

ている。ただし、この中学校再編成が単なる再編成にとどまるものではなく、再編成後に残された学校施設をどのように利用し、地域の活性化をどう見出すかという点も、計画と一緒に盛り込んでいく必要があると思っ

ている。この議論は、教育委員会だけではできないものではなく、市の組織の総合力の中で総合計画後期基本計画や健全財政5ヶ年計画、過疎地域自立促進計画の中

どのように整合性を図っていくのかという点も含め、集中的に議論を重ね、市民の皆様との誠意ある協議により、合意形成を図っていく考えである。

わたしの ひとこと



よしとも
菊池 良知 さん
(松崎町)

「楽しい時間」

私はバカ騒ぎをするのが大好きです。お祭りとか、みんなが集まって、みんなと騒ぐのが大好きです。

学生の頃から、みんなの前でふざけたりしてました。注目されるのが好きなのかも知れません。社会人になってからは、地域活動の方にも参加するようになり、今年の町民運動会では、全身タイツを着て、コミカルな動きで応援しました。見事、応援賞をもらい、来年ももっと頑張らないといけないなと思

ました。力を入れる方向が違っても知れませんが、自分が楽しいからいいんです。全身タイツは一人です。先週ではなく、地域の先輩たちと一緒にしました。その先輩方は凄いです。みんな馬鹿なんです。みんなが恥ずかしがるようなことを平気でします。観たい方は、松崎観音祭りに来てください。私は漫才を頑張っています。とにかく、バカをやっている時が楽しいです。

このコーナーは、市民の皆さまのまちづくりの夢や希望などを掲載しています。掲載希望される方は、お気軽に当事務局までお申し出ください。

皆さまからの議会への提言をお待ちしております

編集後記

私たち広聴広報特別委員会が「議会だより」の編集を手がけてから、早いものでもう4年になるうとしている。

この間、横書き（左とじ）を縦書き（右とじ）に変更したり、紙面構成や写真のとり方を工夫したりしながら、市民の皆さまに、より「読みやすく」「わかりやすく」「親しみやすい」紙面づくりをと心掛けてきたと自負（自己満足かもしれないが）している。

それは、取りも直さず「議会だより」の役目、議会の動きや出来事を一人でも多くの市民の皆さまに伝えることにあり、そのためには、まず手に取ってもらい、そして頁を開いてもらうことにより、議会（議員）の存在がより市民に近づくと考えられるからである。

この私たち委員の思いが、どの程度市民の皆さまに届いたのか見当もつかないが、10月には私たち委員会としての最終号となる「議会だより」を発行して有終の美を飾りたいと思っている。（浅沼）

【広聴広報特別委員】

委員長	瀧澤 征幸
副委員長	菊池巳喜男
委員	荒川 栄悦
同	織笠 孝之
同	浅沼 幸雄
同	新田 勝見

次の定例会は、9月3日（金）から9月16日（木）までの14日間を予定しています。改めて議会運営委員会で決定されます。審議日程などの詳しいことは、議会事務局にお尋ねください。

ホームページ： <http://www.city.tono.iwate.jp/> メール： gikai@city.tono.iwate.jp

編集／広聴広報特別委員会 住所／〒028-0592 岩手県遠野市東館町8番12号

電話／0198-62-2111 印刷／株式会社 東海印刷所 環境にやさしい植物性100%インクを使用しています